



7 故障かな？と思ったときは

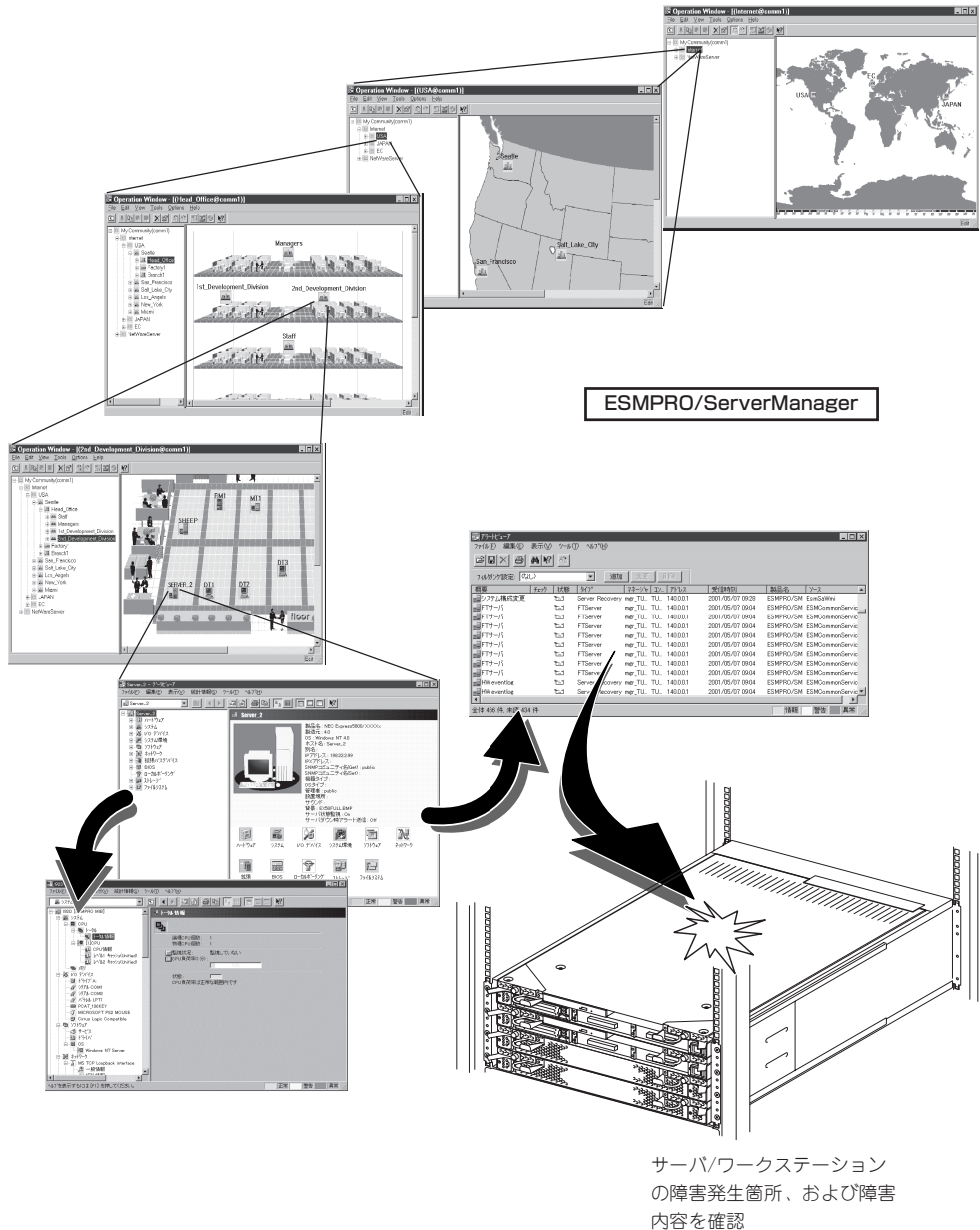
Express5800/ftサーバが思うように動かずに「故障かな？」と思ったときは、故障と疑う前にこの章を参照してください。

障害箇所の切り分け

万一、障害が発生した場合は、ESMPRO/ServerManagerを使って障害の発生箇所を確認し、障害がハードウェアによるものかソフトウェアによるものかを判断します。

障害発生箇所や内容の確認ができれば、故障した部品の交換やシステム復旧などの処置を行います。

障害がハードウェア要因によるものかソフトウェア要因によるものかを判断するには、ESMPRO/ServerManagerが便利です。



エラーメッセージ

Express5800/ftサーバになんらかの異常が起きるとさまざまな形でエラーを通知します。ここでは、エラーメッセージの種類について説明します。

ランプによるエラーメッセージ

Express5800/ftサーバの前面や背面、ハードディスクドライブのハンドル部分にあるランプはさまざまな状態を点灯、点滅、消灯によるパターンや色による表示でユーザーに通知します。「故障かな？」と思ったらランプの表示を確認してください。ランプ表示とその意味については2-15ページの「ランプ」をご覧ください。

液晶ディスプレイからのエラーメッセージ

Express5800/ftサーバの液晶ディスプレイは、Express5800/ftサーバの状態を随時表示します。エラーが起きると液晶ディスプレイにはエラーメッセージが表示されます。液晶ディスプレイに表示されるメッセージとその意味、対処方法について次の表に示します。



重要

本製品は、本体前面に液晶ディスプレイがありませんが、MWAまたはESMPRO/ServerManagerから確認できます。

MWAおよびESMPRO/ServerManagerからの確認方法

- MWA

確認したいサーバを選択して、サーバメニューから[BMCダイアログの起動]を選択してください。BMCダイアログボックス上にサーバの電源状態やステータスランプの状態とともに液晶ディスプレイの状態が表示されます。

- ESMPRO/ServerManager

統合ビューアから確認したいサーバを選択して、データビューアを起動します。データビューア上で確認できます。

表 示	STATUSランプ		対象モジュール	意 味	対処方法
	色	状態			
= A =					
AmbientTempAlm00	アンバー	点滅	CPUモジュール	温度（下限値）異常警告	保守サービス会社に連絡してください。
AmbientTempAlm02	アンバー	点灯	CPUモジュール	致命的な温度（下限値）異常	
AmbientTempAlm07	アンバー	点滅	CPUモジュール	温度（上限値）異常警告	
AmbientTempAlm09	アンバー	点灯	CPUモジュール	致命的な温度（上限値）異常	
= B =					
BMC Unsync	—	—	PCIモジュール#1	BMCの同期が取れない	保守サービス会社に連絡してください。
BMC0 Not Ready	緑	点滅	PCIモジュール#1	PCIモジュールのBMCが切り離された	しばらく経くようでしたら、保守サービス会社に連絡してください。
BMC1 Not Ready	緑	点滅	PCIモジュール#2		
= C =					
Cor0 +12vAlm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	+12V電圧（下限値）異常警告	保守サービス会社に連絡してください。
Cor0 +12vAlm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な+12V電圧（下限値）異常	
Cor0 +12vAlm 07	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	+12V（上限値）異常警告	
Cor0 +12vAlm 09	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な+12V（上限値）異常	
Cor0 +2.5vAlm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	2.5V電圧（下限値）異常警告	
Cor0 +2.5vAlm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な2.5V電圧（下限値）異常	
Cor0 +2.5vAlm 07	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	2.5V（上限値）異常警告	
Cor0 +2.5vAlm 09	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な2.5V（上限値）異常	
Cor0 +3.3vAlm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	3.3V電圧（下限値）異常警告	

表 示	STATUSランプ		対象モジュール	意 味	対処方法
	色	状態			
= C =					
Cor0 +3.3vAlm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な3.3V電圧 (下限値) 異常	保守サービス会社に連絡してください。
Cor0 +3.3vAlm 07	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	3.3V (上限値) 異常警告	
Cor0 +3.3vAlm 09	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な3.3V (上限値) 異常	
Cor0 +3.3vsAlm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	3.3V電圧 (下限値) 異常警告	
Cor0 +3.3vsAlm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な3.3V電圧 (下限値) 異常	
Cor0 +3.3vsAlm 07	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	3.3V (上限値) 異常警告	
Cor0 +3.3vsAlm 09	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な3.3V (上限値) 異常	
Cor0 +5.0vAlm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	5V電圧 (下限値) 異常警告	
Cor0 +5.0vAlm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な5V電圧 (下限値) 異常	
Cor0 +5.0vAlm 07	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	5V (上限値) 異常警告	
Cor0 +5.0vAlm 09	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な5V (上限値) 異常	
Cor0 +5.0vsAlm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	5V電圧 (下限値) 異常警告	
Cor0 +5.0vsAlm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な5V電圧 (下限値) 異常	
Cor0 +5.0vsAlm 07	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	5V (上限値) 異常警告	
Cor0 +5.0vsAlm 09	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な5V (上限値) 異常	
Cor0 -12vAlm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	-12V電圧 (下限値) 異常警告	
Cor0 -12vAlm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な-12V電圧 (下限値) 異常	
Cor0 -12vAlm 07	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	-12V (上限値) 異常警告	

表 示	STATUSランプ		対象モジュール	意 味	対処方法
	色	状態			
= C =					
Cor0 -12vAlm 09	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な-12V（上限値）異常	保守サービス会社に連絡してください。
Cor0 Bus PERR 01	緑	点滅	PCIモジュール#1	PCIバスのパリティエラー	
Cor0 Bus SERR 01	緑	点滅	PCIモジュール#1	致命的なPCIバスのエラー	
Cor0 CLK Alm 00	アンバー	点滅	CLOCKボード	クロック（下限値）異常警告	
Cor0 CLK Alm 02	アンバー	点灯	CLOCKボード	致命的なクロック（下限値）異常	内部のファンに埃やチリが付着していないことを確認してください。また、内部ファンのケーブルが確実に接続されていることを確認してください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
Cor0 CLK Alm 07	アンバー	点滅	CLOCKボード	クロック（上限値）異常警告	
Cor0 CLK Alm 09	アンバー	点灯	CLOCKボード	致命的なクロック（上限値）異常	
Cor0 FAN Alm 01	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	冷却ファン1異常警告	
Cor0 FAN Alm 02	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	冷却ファン2異常警告	切り離されているモジュールを1つサーバーバヨリティリティで起動してください。または、モジュールを一度抜いて、再び実装しなおしてください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
Cor0 FAN Alm 03	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	冷却ファン3異常警告	
Cor0 FAN Alm 04	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	冷却ファン4異常警告	
Cor0 FAN Alm 05	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	冷却ファン5異常警告	
Cor0 offline	緑	点滅	PCIモジュール#1	PCIモジュールが論理的に切り離されている	モジュールを一度抜いて、再び実装しなおしてください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
Cor0 removed	緑	点滅	PCIモジュール#1	PCIモジュールが外れている	
Cor0 Temp Alm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	温度（下限値）異常警告	
Cor0 Temp Alm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な温度（下限値）異常	
Cor0 Temp Alm 07	アンバー	点滅	PCIモジュール#1	温度（上限値）異常警告	内部のファンに埃やチリが付着していないことを確認してください。また、内部ファンのケーブルが確実に接続されていることを確認してください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
Cor0 Temp Alm 09	アンバー	点灯	PCIモジュール#1	致命的な温度（上限値）異常	

表 示		STATUSランプ		対象モジュール	意 味	対処方法
		色	状態			
= C =						
Cor1 +12vAlm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	+12V電圧 (下限値) 異常警告	保守サービス会社に連絡してください。	
Cor1 +12vAlm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な+12V電圧 (下限値) 異常		
Cor1 +12vAlm 07	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	+12V (上限値) 異常警告		
Cor1 +12vAlm 09	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な+12V (上限値) 異常		
Cor1 +2.5vAlm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	2.5V電圧 (下限値) 異常警告		
Cor1 +2.5vAlm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な2.5V電圧 (下限値) 異常		
Cor1 +2.5vAlm 07	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	2.5V (上限値) 異常警告		
Cor1 +2.5vAlm 09	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な2.5V (上限値) 異常		
Cor1 +3.3vAlm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	3.3V電圧 (下限値) 異常警告		
Cor1 +3.3vAlm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な3.3V電圧 (下限値) 異常		
Cor1 +3.3vAlm 07	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	3.3V (上限値) 異常警告		
Cor1 +3.3vAlm 09	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な3.3V (上限値) 異常		
Cor1 +3.3vsAlm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	3.3V電圧 (下限値) 異常警告		
Cor1 +3.3vsAlm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な3.3V電圧 (下限値) 異常		
Cor1 +3.3vsAlm07	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	3.3V (上限値) 異常警告		
Cor1 +3.3vsAlm09	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な3.3V (上限値) 異常		
Cor1 +5.0vAlm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	5V電圧 (下限値) 異常警告		
Cor1 +5.0vAlm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な5V電圧 (下限値) 異常		

表 示	STATUSランプ		対象モジュール	意 味	対処方法
	色	状態			
= C =					
Cor 1 +5.0vAlm 07	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	5V (上限値) 異常警告	保守サービス会社に連絡してください。
Cor 1 +5.0vAlm 09	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な5V (上限値) 異常	
Cor 1 +5.0vsAlm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	5V電圧 (下限値) 異常警告	
Cor 1 +5.0vsAlm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な5V電圧 (下限値) 異常	
Cor 1 +5.0vsAlm 07	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	5V (上限値) 異常警告	
Cor 1 +5.0vsAlm 09	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な5V (上限値) 異常	
Cor 1 -12vAlm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	-12V電圧 (下限値) 異常警告	
Cor 1 -12vAlm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な-12V電圧 (下限値) 異常	
Cor 1 -12vAlm 07	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	-12V (上限値) 異常警告	
Cor 1 -12vAlm 09	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な-12V (上限値) 異常	
Cor 1 Bus PERR 01	緑	点滅	PCIモジュール#2	PCIバスのパリティエラー	
Cor 1 Bus SERR 01	緑	点滅	PCIモジュール#2	致命的なPCIバスのエラー	
Cor 1 CLK Alm 00	アンバー	点滅	CLOCKボード	クロック (下限値) 異常警告	
Cor 1 CLK Alm 02	アンバー	点灯	CLOCKボード	致命的なクロック (下限値) 異常	
Cor 1 CLK Alm 07	アンバー	点滅	CLOCKボード	クロック (上限値) 異常警告	
Cor 1 CLK Alm 09	アンバー	点灯	CLOCKボード	致命的なクロック (上限値) 異常	
Cor 1 FAN Alm 01	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	冷却ファン1異常警告	内部のファンに埃やチリが付着していないことを確認してください。また、内部ファンのケーブルが確実に接続されていることを確認してください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
Cor 1 FAN Alm 02	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	冷却ファン2異常警告	

表 示	STATUSランプ		対象モジュール	意 味	対処方法
	色	状態			
= C =					
Cor1 FAN Alm 03	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	冷却ファン3異常警告	内部のファンに埃やチリが付着していないことを確認してください。また、内部ファンのケーブルが確実に接続されていることを確認してください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
Cor1 FAN Alm 04	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	冷却ファン4異常警告	
Cor1 FAN Alm 05	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	冷却ファン5異常警告	
Cor1 offline	緑	点滅	PCIモジュール#2	PCIモジュールが論理的に切り離されている	切り離されているモジュールを付サーバユーティリティで起動してください。または、モジュールを一度抜いて、再び実装しなおしてください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
Cor1 removed	緑	点滅	PCIモジュール#2	PCIモジュールが外れている	モジュールを一度抜いて、再び実装しなおしてください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
Cor1 Temp Alm 00	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	温度（下限値）異常警告	内部のファンに埃やチリが付着していないことを確認してください。また、内部ファンのケーブルが確実に接続されていることを確認してください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
Cor1 Temp Alm 02	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な温度（下限値）異常	
Cor1 Temp Alm 07	アンバー	点滅	PCIモジュール#2	温度（上限値）異常警告	
Cor1 Temp Alm 09	アンバー	点灯	PCIモジュール#2	致命的な温度（上限値）異常	保守サービス会社に連絡してください。
CPU IERR 00	緑	点滅	CPUモジュール#1	CPU#1内部エラー	
CPU IERR 01	緑	点滅	CPUモジュール#1	CPU#2内部エラー	
CPU IERR 20	緑	点滅	CPUモジュール#2	CPU#1内部エラー	
CPU IERR 21	緑	点滅	CPUモジュール#2	CPU#2内部エラー	
CPU T-Trip 00	緑	点滅	CPUモジュール#1	CPU#1熱変化（上限値）エラー	
CPU T-Trip 01	緑	点滅	CPUモジュール#1	CPU#2熱変化（上限値）エラー	
CPU T-Trip 20	緑	点滅	CPUモジュール#2	CPU#1熱変化（上限値）エラー	
CPU T-Trip 21	緑	点滅	CPUモジュール#2	CPU#2熱変化（上限値）エラー	
CPU0 +12ss Alm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	+12V電圧（下限値）異常警告	

表 示	STATUSランプ		対象モジュール	意 味	対処方法
	色	状態			
= C =					
CPU0 +12ss A l m 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な+12V電圧 (下限値) 異常	保守サービス会社に連絡してください。
CPU0 +12ss A l m 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	+12V (上限値) 異常警告	
CPU0 +12ss A l m 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な+12V (上限値) 異常	
CPU0 +12vA l m 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	+12V電圧 (下限値) 異常警告	
CPU0 +12vA l m 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な+12V電圧 (下限値) 異常	
CPU0 +12vA l m 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	+12V (上限値) 異常警告	
CPU0 +12vA l m 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な+12V (上限値) 異常	
CPU0 +1.5vA l m 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	1.5V電圧 (下限値) 異常警告	
CPU0 +1.5vA l m 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な1.5V電圧 (下限値) 異常	
CPU0 +1.5vA l m 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	1.5V (上限値) 異常警告	
CPU0 +1.5vA l m 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な1.5V (上限値) 異常	
CPU0 +2.5vA l m 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	2.5V電圧 (下限値) 異常警告	
CPU0 +2.5vA l m 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な2.5V電圧 (下限値) 異常	
CPU0 +2.5vA l m 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	2.5V (上限値) 異常警告	
CPU0 +2.5vA l m 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な2.5V (上限値) 異常	
CPU0 +2.5VcA l m 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	2.5V電圧 (下限値) 異常警告	
CPU0 +2.5VcA l m 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な2.5V電圧 (下限値) 異常	
CPU0 +2.5VcA l m 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	2.5V (上限値) 異常警告	

表 示	STATUSランプ		対象モジュール	意 味	対処方法
	色	状態			
= C =					
CPU0 +2.5VcAlm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な2.5V（上限値）異常	保守サービス会社に連絡してください。
CPU0 +3.3vAlm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	3.3V電圧（下限値）異常警告	
CPU0 +3.3vAlm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な3.3V電圧（下限値）異常	
CPU0 +3.3vAlm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	3.3V（上限値）異常警告	
CPU0 +3.3vAlm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な3.3V（上限値）異常	
CPU0 +3.3vsAlm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	3.3V電圧（下限値）異常警告	
CPU0 +3.3vsAlm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な3.3V電圧（下限値）異常	
CPU0 +3.3vsAlm07	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	3.3V（上限値）異常警告	
CPU0 +3.3vsAlm09	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な3.3V（上限値）異常	
CPU0 +5.0vAlm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	5V電圧（下限値）異常警告	
CPU0 +5.0vAlm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な5V電圧（下限値）異常	
CPU0 +5.0vAlm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	5V（上限値）異常警告	
CPU0 +5.0vAlm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な5V（上限値）異常	
CPU0 +5.0vsAlm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	5V電圧（下限値）異常警告	
CPU0 +5.0vsAlm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な5V電圧（下限値）異常	
CPU0 +5.0vsAlm07	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	5V（上限値）異常警告	
CPU0 +5.0vsAlm09	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な5V（上限値）異常	
CPU0 broken	緑	点滅	CPUモジュール#1	CPUモジュール故障	

表 示	STATUSランプ		対象モジュール	意 味	対処方法
	色	状態			
= C =					
CPU0 FAN ALm 01	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	冷却ファン1異常警告	内部のファンに埃やチリが付着していないことを確認してください。また、内部ファンのケーブルが確実に接続されていることを確認してください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
CPU0 FAN ALm 03	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	冷却ファン2異常警告	
CPU0 FAN ALm 04	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	冷却ファン3異常警告	
CPU0 offline	緑	点滅	CPUモジュール#1	CPUモジュールが論理的に切り離されている	切り離されているモジュールをサーバーバウティリティで起動してください。または、モジュールを一度抜いて、再び実装しなおしてください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
CPU0 removed	緑	点滅	CPUモジュール#1	CPUモジュールが外れている	モジュールを一度抜いて、再び実装しなおしてください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
CPU0 Temp ALm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	温度（下限値）異常警告	内部のファンに埃やチリが付着していないことを確認してください。また、内部ファンのケーブルが確実に接続されていることを確認してください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
CPU0 Temp ALm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な温度（下限値）異常	
CPU0 Temp ALm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	温度（上限値）異常警告	
CPU0 Temp ALm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な温度（上限値）異常	保守サービス会社に連絡してください。
CPU0 VccpALm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	CPU動作電圧（下限値）異常(VCCP)警告	
CPU0 VccpALm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的なCPU動作電圧（下限値）異常(VCCP)	
CPU0 VccpALm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	CPU動作電圧（上限値）異常(VCCP)警告	保守サービス会社に連絡してください。
CPU0 VccpALm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的なCPU動作電圧（上限値）異常(VCCP)	
CPU0 Vtt ALm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	1.25V電圧（下限値）異常警告	
CPU0 Vtt ALm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な1.25V電圧（下限値）異常	保守サービス会社に連絡してください。
CPU0 Vtt ALm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	1.25V（上限値）異常警告	
CPU0 Vtt ALm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的な1.25V（上限値）異常	

表 示	STATUSランプ		対象モジュール	意 味	対処方法
	色	状態			
= C =					
CPU00 Temp Al m 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	CPU#1の温度 (下限値) 異常警告	内部のファンに埃やチリが付着していないことを確認してください。 また、内部ファンのケーブルが確実に接続されていることを確認してください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
CPU00 Temp Al m 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的なCPU#1の温度 (下限値) 異常	
CPU00 Temp Al m 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	CPU#1の温度 (上限値) 異常警告	
CPU00 Temp Al m 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的なCPU#1の温度 (上限値) 異常	
CPU01 Temp Al m 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	CPU#2の温度 (下限値) 異常警告	
CPU01 Temp Al m 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的なCPU#2の温度 (下限値) 異常	
CPU01 Temp Al m 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	CPU#2の温度 (上限値) 異常警告	
CPU01 Temp Al m 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的なCPU#2の温度 (上限値) 異常	
CPU2 +12 ss Al m 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	+12V電圧 (下限値) 異常警告	
CPU2 +12 ss Al m 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な+12V電圧 (下限値) 異常	
CPU2 +12 ss Al m 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	+12V (上限値) 異常警告	
CPU2 +12 ss Al m 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な+12V (上限値) 異常	
CPU2 +12 vAl m 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	+12V電圧 (下限値) 異常警告	
CPU2 +12 vAl m 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な+12V電圧 (下限値) 異常	
CPU2 +12 vAl m 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	+12V (上限値) 異常警告	
CPU2 +12 vAl m 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な+12V (上限値) 異常	
CPU2 +1.5 vAl m 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	1.5V電圧 (下限値) 異常警告	
CPU2 +1.5 vAl m 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な1.5V電圧 (下限値) 異常	

表 示	STATUSランプ		対象モジュール	意 味	対処方法
	色	状態			
= C =					
CPU2 + 1.5vAlm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	1.5V（上限値）異常警告	保守サービス会社に連絡してください。
CPU2 + 1.5vAlm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な1.5V（上限値）異常	
CPU2 + 2.5vAlm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	2.5V電圧（下限値）異常警告	
CPU2 + 2.5vAlm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な2.5V電圧（下限値）異常	
CPU2 + 2.5vAlm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	2.5V（上限値）異常警告	
CPU2 + 2.5vAlm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な2.5V（上限値）異常	
CPU2 + 2.5VcAlm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	2.5V電圧（下限値）異常警告	
CPU2 + 2.5VcAlm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な2.5V電圧（下限値）異常	
CPU2 + 2.5VcAlm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	2.5V（上限値）異常警告	
CPU2 + 2.5VcAlm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な2.5V（上限値）異常	
CPU2 + 3.3vAlm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	3.3V電圧（下限値）異常警告	
CPU2 + 3.3vAlm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な3.3V電圧（下限値）異常	
CPU2 + 3.3vAlm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	3.3V（上限値）異常警告	
CPU2 + 3.3vAlm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な3.3V（上限値）異常	
CPU2 + 3.3vsAlm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	3.3V電圧（下限値）異常警告	
CPU2 + 3.3vsAlm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な3.3V電圧（下限値）異常	
CPU2 + 3.3vsAlm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	3.3V（上限値）異常警告	
CPU2 + 3.3vsAlm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な3.3V（上限値）異常	

表 示		STATUSランプ		対象モジュール	意 味	対処方法
		色	状態			
= C =						
CPU2 +5.0vAlm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	5V電圧 (下限値) 異常警告	保守サービス会社に連絡してください。	
CPU2 +5.0vAlm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な5V電圧 (下限値) 異常		
CPU2 +5.0vAlm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	5V (上限値) 異常警告		
CPU2 +5.0vAlm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な5V (上限値) 異常		
CPU2 +5.0vsAlm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	5V電圧 (下限値) 異常警告		
CPU2 +5.0vsAlm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な5V電圧 (下限値) 異常	内部のファンに埃やチリが付着していないことを確認してください。また、内部ファンのケーブルが確実に接続されていることを確認してください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。	
CPU2 +5.0vsAlm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	5V (上限値) 異常警告		
CPU2 +5.0vsAlm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な5V (上限値) 異常		
CPU2 broken	緑	点滅	CPUモジュール#2	CPUモジュール故障		
CPU2 FAN Alm 01	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	冷却ファン1異常警告		
CPU2 FAN Alm 03	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	冷却ファン2異常警告	切り離されているモジュールをサーバーバユニットリティで起動してください。または、モジュールを一度抜いて、再び実装しなおしてください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。	
CPU2 FAN Alm 04	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	冷却ファン3異常警告		
CPU2 offline	緑	点滅	CPUモジュール#2	CPUモジュールが論理的に切り離されている		
CPU2 removed	緑	点滅	CPUモジュール#2	CPUモジュールが外れている		
CPU2 Temp Alm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	温度 (下限値) 異常警告		
CPU2 Temp Alm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な温度 (下限値) 異常	内部のファンに埃やチリが付着していないことを確認してください。また、内部ファンのケーブルが確実に接続されていることを確認してください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。	
CPU2 Temp Alm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	温度 (上限値) 異常警告		
CPU2 Temp Alm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な温度 (上限値) 異常		

表 示	STATUSランプ		対象モジュール	意 味	対処方法
	色	状態			
= C =					
CPU2 VccpAlm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	CPU動作電圧（下限値）異常(VCCP) 警告	保守サービス会社に連絡してください。
CPU2 VccpAlm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的なCPU動作電圧（下限値）異常(VCCP)	
CPU2 VccpAlm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	CPU動作電圧（上限値）異常(VCCP) 警告	
CPU2 VccpAlm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的なCPU動作電圧（上限値）異常(VCCP)	
CPU2 VttAlm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	1.25V電圧（下限値）異常警告	
CPU2 VttAlm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な1.25V電圧（下限値）異常	
CPU2 VttAlm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	1.25V（上限値）異常警告	
CPU2 VttAlm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的な1.25V（上限値）異常	
CPU20 TempAlm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	CPU#1の温度（下限値）異常警告	内部のファンに埃やチリが付着していないことを確認してください。また、内部ファンのケーブルが確実に接続されていることを確認してください。それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
CPU20 TempAlm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的なCPU#1の温度（下限値）異常	
CPU20 TempAlm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#1	CPU#1の温度（上限値）異常警告	
CPU20 TempAlm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#1	致命的なCPU#1の温度（上限値）異常	
CPU21 TempAlm 00	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	CPU#2の温度（下限値）異常警告	
CPU21 TempAlm 02	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的なCPU#2の温度（下限値）異常	
CPU21 TempAlm 07	アンバー	点滅	CPUモジュール#2	CPU#2の温度（上限値）異常警告	
CPU21 TempAlm 09	アンバー	点灯	CPUモジュール#2	致命的なCPU#2の温度（上限値）異常	

表 示	STATUSランプ		対象モジュール	意 味	対処方法
	色	状態			
= D =					
DUMP Request !	消灯		—	DUMPスイッチ要求	保守サービス会社に連絡してください。
= F =					
FRB processing	消灯		—	POST実行中/OS起動中	正常動作しています。
= M =					
Memory U-Err 01	緑	点滅	CPUモジュール#1	DIMM#1の2Bitエラー	DIMM交換が必要です。保守サービス会社に連絡してください。
Memory U-Err 02	緑	点滅	CPUモジュール#1	DIMM#2の2Bitエラー	
Memory U-Err 03	緑	点滅	CPUモジュール#1	DIMM#3の2Bitエラー	
Memory U-Err 04	緑	点滅	CPUモジュール#1	DIMM#4の2Bitエラー	
Memory U-Err 05	緑	点滅	CPUモジュール#1	DIMM#5の2Bitエラー	
Memory U-Err 06	緑	点滅	CPUモジュール#1	DIMM#6の2Bitエラー	
Memory U-Err 21	緑	点滅	CPUモジュール#2	DIMM#1の2Bitエラー	
Memory U-Err 22	緑	点滅	CPUモジュール#2	DIMM#2の2Bitエラー	
Memory U-Err 23	緑	点滅	CPUモジュール#2	DIMM#3の2Bitエラー	
Memory U-Err 24	緑	点滅	CPUモジュール#2	DIMM#4の2Bitエラー	
Memory U-Err 25	緑	点滅	CPUモジュール#2	DIMM#5の2Bitエラー	
Memory U-Err 26	緑	点滅	CPUモジュール#2	DIMM#6の2Bitエラー	
= O =					
OS shutdown Alm	消灯		—	ウォッチドックタイマのタイムアウトによるシャットダウン（致命的）	保守サービス会社に連絡してください。
= P =					
Power Off	消灯		—	DC OFFの状態	—

表 示	STATUSランプ		対象モジュール	意 味	対処方法
	色	状態			
= S =					
SSR processing	消灯		—	リカバリーブート中	DUMP採取中です。
= W =					
WDT timeout	消灯		—	ウォッチドックタイムのタイムアウト発生 (致命的)	保守サービス会社に連絡してください。

POST中のエラーメッセージ

Express5800/ftサーバの電源をONにすると自動的に実行される自己診断機能「POST」中に何らかの異常を検出すると、ディスプレイ装置の画面にエラーメッセージが表示されます(場合によってはその対処方法も表示されます)。次の表に、画面に表示されるメッセージとその意味、対処方法を示します。

キーボードコントローラのエラーを示すメッセージ

```
Phoenix BIOS 4.0 Release 6.0.XXXX
:
CPU=Pentium III Processor XXX MHz
0640K System RAM Passed
0127M Extended RAM Passed
WARNING
0212: Keybord Controller Failed.
:
Press <F1> to resume, <F2> to setup
```



以下に記載されているPOSTのエラーメッセージ一覧はExpress5800/ftサーバ単体のものです。マザーボードに接続されているオプションのPCIボードなどに搭載されているBIOSのエラーメッセージとその対処方法についてはオプションに添付の説明書を参照してください(Express5800/ftサーバのマザーボードにSCSIコントローラが搭載されている場合はこれらのメッセージも含まれています)。

ディスプレイ上のエラーメッセージ	意 味	原因	対処方法
0200 Failure Fixed Disk	ハードディスクエラー。	(a) セットアップメニューの設定ミスです。 (b) ハードディスクドライブが故障しています。 (c) CPUモジュールボードが故障しています。 (d) PCIモジュールボードが故障しています。	(a) セットアップメニューの設定を調べてください。 (b) ハードディスクドライブを交換してください。 (c) CPUモジュールボードを交換してください。 (d) PCIモジュールボードを交換してください。
0210 Stuck Key	キーボード接続エラー。	キーボードの接続不良です。	(a) キーボードを接続し直してください。 (b) キーボードを交換してください。 (c) PCIモジュールボードを交換してください。
0211 Keyboard error	キーボードエラー。	キーボードが故障しています。	(a) キーボードの接続状態を確認してください。 (b) サーバを再起動させてください。
0212 Keyboard Controller Failed	キーボードコントローラエラー。	キーボードコントローラが故障しています。	(c) PCIモジュールボードを交換してください。
0213 Keyboard locked - Unlock key switch	キーボードがロックされている。	キーボードがロックされています。	キースイッチのロックを解除してください。
0220 Monitor type does not match CMOS - Run SETUP	モニタの種類がCMOSと合っていない。	モニタ種類の設定ミスです。	(a) セットアップメニューからGet Default Valueを選んでください。 (b) CMOSをクリアしてください。

故障かな?と思ったときは

ディスプレイ上のエラーメッセージ		意 味	原因	対処方法
0230	System RAM Failed at offset	システムRAMのエラー。	DIMMが故障しています。	(a) DIMMを交換してください。 (b) CPUモジュールボードを交換してください。
0231	Shadow RAM Failed at offset	Shadow RAMのエラー。	DIMMが故障しています。	(a) DIMMを交換してください。 (b) CPUモジュールボードを交換してください。
0232	Extend RAM Failed at address line	拡張RAMのエラー。	DIMMが故障しています。	(a) DIMMを交換してください。 (b) CPUモジュールボードを交換してください。
0233	Memory type mixing detected	メモリの種類が混在している。	違う種類のDIMMがインストールされています。	弊社の推奨するDIMMに交換してください。
0234	Single - bit ECC error	1ビットECCエラー。	DIMMが故障しています。	(a) DIMMを交換してください。 (b) CPUモジュールボードを交換してください。
0235	Multiple - bit ECC error	2ビットECCエラー。	DIMMが故障しています。	(a) DIMMを交換してください。 (b) CPUモジュールボードを交換してください。
0250	System battery is dead - Replace and run SETUP	システムバッテリー寿命。	NvRAMのバッテリーが寿命です。	PCIモジュールボードを交換してください。
0251	System CMOS checksum bad-Default configuration used	CMOSのチェックサムエラー。	NvRAMが故障しています。	(a) セットアップメニューを再設定してください。 (b) PCIモジュールボードを交換してください。
0252	Password checksum bad - Password cleared	パスワードのチェックサムエラー。	NvRAMが故障しています。	(a) セットアップメニューでパスワードを再設定してください。 (b) PCIモジュールボードを交換してください。
0260	System timer error	システムタイマのエラー。	PCIモジュールボードが故障しています。	PCIモジュールボードを交換してください。
0270	Real time clock error	RTCエラー。	RTCが故障しています。	PCIモジュールボードを交換してください。
0271	Check date and time setting	日付と時刻の設定が不正。	RTCの日付と時刻設定が故障しています。	(a) セットアップメニューで日付と時刻を設定してください。 (b) PCIモジュールボードを交換してください。
0280	Previous boot incomplete - Default configuration used	前回の起動が正常に終了していない。	セットアップメニューの設定ミスです。	セットアップメニューの設定を確認してください。
02B0	Diskette drive A error	フロッピーディスクドライブAのエラー。	フロッピーディスクドライブAのエラーです。	フロッピーディスクドライブAを交換してください。
02B2	Incorrect Drive A type - run SETUP	ドライブAの種類が間違っている。	セットアップメニューの設定ミスです。	セットアップメニューを設定してください。
02D0	System cache error - Cache disabled	CPUキャッシュのエラー。	(a) CPUが故障しています。 (b) CPUモジュールボードが故障しています。	(a) CPUを交換してください。 (b) CPUモジュールボードを交換してください。
0B1B	PCI System Error on Bus/Device/Function	PCIバスのシステムエラー。	PCIデバイスが故障しています。	(a) PCIデバイスボードを交換してください。 (b) PCIデバイスボードをもう一度取り付け直してください。
0B1C	PCI Parity Error on Bus/Device/Function	PCIバスのパリティエラー。	PCIデバイスが故障しています。	(c) PCIデバイスボードの設定をやり直してください。
0B22	CPUs are installed out of order	CPUの故障。	CPUが故障しています。	CPUを交換してください。

ディスプレイ上のエラーメッセージ		意 味	原因	対処方法
0B28	Unsupported Processor detected on Processor 1	未サポートのプロセッサ (CPU) を取り付けられている	未サポートのプロセッサ (CPU) がProcessor 1に取り付けられています。	本装置がサポートしているCPUに交換してください。
0B29	Unsupported Processor detected on Processor 2	未サポートのプロセッサ (CPU) を取り付けられている	未サポートのプロセッサ (CPU) がProcessor 2に取り付けられています。	本装置がサポートしているCPUに交換してください。
0B30	CPU FAN #1 Alarm occurred	ファンのエラー。	(a) ファンの中にゴミがたまっています。 (b) ファンが故障しています。 (c) CPUモジュールボードが故障しています。	(a) ファンを交換してください。
0B31	CPU FAN #2 Alarm occurred			(b) ファンのケーブルを正しく接続してください。 (c) CPUモジュールボードを交換してください。
0B32	CPU FAN #3 Alarm occurred	ファンのエラー。	(a) ファンの中にゴミがたまっています。 (b) ファンが故障しています。 (c) CPUモジュールボードが故障しています。	(a) ファンを交換してください。 (b) ファンのケーブルを正しく接続してください。 (c) CPUモジュールボードを交換してください。
0B40	Invalid System Configuration Data	機器構成システムの故障。	CPU/PCIモジュールボードが故障しています。	CPU/PCIモジュールボードを交換してください。
0B41	System Configuration Data Read error	システム構成データのリードエラー。	CPU/PCIモジュールボードが故障しています。	CPU/PCIモジュールボードを交換してください。
0B42	Resource Conflict	PCIリソース構成の不正。	SETUPの設定ミスです。	SETUPで機器構成を設定し直してください。
0B43	Warning: IRQ not configured	PCI INT構成の不正。	SETUPの設定ミスです。	SETUPで設定し直してください。
0B44	Expansion Rom not initialized	拡張ROM初期化中のエラー。	SETUPの設定ミスです。	SETUPで必要ないオプションのPCIカードの拡張ROMの展開を禁止してください。
0B45	System Configuration Data Write error	システム構成データのライトエラー。	CPU/PCIモジュールボードが故障しています。	CPU/PCIモジュールボードを交換してください。
0B47	Missing date and time synchronization	日時の同期処理に失敗し、不正となっている。	BMC間通信異常により日時の設定が壊れています。	(a) システムを再起動してください。 (b) SETUPで日時を設定し直してください。 それでも直らない場合はPCIモジュールボードを交換してください。
0B49	BMC issued Reset Command, but failed System Reset	BMCによるシステムリセットが機能しない。	BMCのリセットコマンドがきかず、システムをリセットできません。	PCIモジュールボードを交換してください。

ディスプレイ上のエラーメッセージ		意 味	原因	対処方法
0B6E	DIMMs are installed out of order	DIMMの故障。	DIMMが故障しています。	DIMMを交換してください。
0B70	The error occurred during temperature sensor reading	温度情報取得中にエラーが発生。	(a) SMBusが故障しています。 (b) 温度センサが故障しています。	CPU/PCIモジュールボードかバックパネルボードを交換してください。
0B71	System temperature out of Range	システム内温度が異常。	(a) システムを運用する環境温度が規定温度範囲外です。 (b) ファンが故障しています。 (c) CPU/PCIモジュールボードが故障しています。	(a) セットアップメニューの設定を確認してください。 (b) ファンを掃除してください。 (c) ファンを交換してください。 (d) CPU/PCIモジュールボードを交換してください。
0B80	BMC Memory Test Failed	BMCデバイスの故障。	BMCが故障しています。	PCIモジュールボードを交換してください。
0B81	BMC Firmware Code Area CRC check failed			
0B82	BMC core Hardware failure			
0B83	BMC IBF or OBF check failed			
0B90	BMC Platform Information Area corrupted	BMCデバイスの故障。	BMCが故障しています。	PCIモジュールボードを交換してください。
0B91	BMC update firmware corrupted			
0B92	Internal Use Area of BMC FRU corrupted	SROMのシャーン情報のエラー。	(a) SROMが故障しています。 (b) BMCが故障しています。	(a) バックパネルボードを交換してください。 (b) PCIモジュールボードを交換してください。
0B93	BMC SDR Repository empty	BMCデバイスの故障。	BMCが故障しています。	PCIモジュールボードを交換してください。
0B94	IPMB signal lines do not respond	SMCの故障。		
0B95	BMC FRU device failure	SROMのシャーン情報の故障。		
0B96	BMC SDR Repository failure	BMCデバイスの故障。		
0B97	BMC SEL device failure			
0B98	BMC SEL Overflow	SELのオーバーフロー。	SEL (システムイベントログ) がオーバーフローを起こしています。	必要のないSELを削除してください。
0BB0	SMBIOS - SROM data read error	SROM読み取り中のエラー。	(a) SROMが故障しています。 (b) バックパネルボードが故障しています。	バックパネルボードを交換してください。
0BB1	SMBIOS - SROM data checksum bad	SROMのチェックサムのエラー。		
0BD0	1st SMBus device address not acknowledged	PCIモジュールボード # 1上のSMBusの故障。	各ボードが故障しています。	(a) ケーブルの接続を確認してください。 (b) 各ボードを交換してください。
0BD1	1st SMBus device Error detected			
0BD2	1st SMBus timeout			

ディスプレイ上のエラーメッセージ		意 味	原因	対処方法
0BD3	2nd SMBus device address not acknowledged	C P U モ ジ ュ ー ル ボード # 1 の SMBus の 故障。	各ボードが故障しています。	(a) ケーブルの接続を確認してください。 (b) 各ボードを交換してください。
0BD4	2nd SMBus device Error detected			
0BD5	2nd SMBus timeout			
0BD6	3rd SMBus device address not acknowledged	本装置では3rd SMBus は未使用のため表示されません。		
0BD7	3rd SMBus device Error detected			
0BD8	3rd SMBus timeout			
0BD9	4th SMBus device address not acknowledged	C P U モ ジ ュ ー ル ボード # 2 の SMBus の 故障。		
0BDA	4th SMBus device Error detected			
0BDB	4th SMBus timeout			
0BDC	5th SMBus device address not acknowledged	本装置では5th SMBus は未使用のため表示されません。		
0BDD	5th SMBus device Error detected			
0BDE	5th SMBus timeout			
0BDF	6th SMBus device address not acknowledged	本装置では6th SMBus は未使用のため表示されません。		
0BE0	6th SMBus device Error detected			
0BE1	6th SMBus timeout			
0BE2	7th SMBus device address not acknowledged	バックパネルボード上の SMBus の故障。		
0BE3	7th SMBus device Error detected			
0BE4	7th SMBus timeout			
0BE5	8th SMBus device address not acknowledged	PCIモジュールボード # 2 上 の S M B u s の 故障。		
0BE6	8th SMBus device Error detected			
0BE7	8th SMBus timeout			
0BF0	Vendor ID cannot be retrieved from BP IDPROM	バックパネルボードの SRROM からベンダ ID の取り出しに失敗 した。	バックパネルボードの故障で す。	バックパネルボードを交換して ください。
0BF1	System Structure cannot be retrieved from BP IDPROM	バックパネルボードの SRROM からシステム 構成の取り出しに失敗 した。	バックパネルボードの故障で す。	バックパネルボードを交換して ください。
0C00	Rompilot reports error number xx	Rompilot初期化中のエ ラー。	(a) SETUPの設定ミスです。 (b) CPU/PCIモジュール ボードが故障しています。	(a) Rompilotを再構成してくだ さい。 (b) CPU/PCIモジュールボードを 交換してください。
8600	No working DQS value found	DQS未検出。	(a) DIMMが故障しています。 (b) 未サポートのDIMMです。	(a) DIMMを交換してください。 (b) 弊社の推奨するDIMMに交 換してください。

ディスプレイ上のエラーメッセージ		意 味	原因	対処方法
8610	MAC Address update failed - CoreI/O#0 10/100Mbit Ethernet Controller	PCIモジュールボード #1のオンボード上の10/100Mbit Ethernet ControllerへのMAC Address設定処理に失敗。	MAC Address設定時、FRB2 Timeoutが発生し、書き換えに失敗しました。	(a) バックパネルボードを交換してください。 (b) PCIモジュールボード#1を交換してください。
8611	MAC Address update failed - CoreI/O#0 Gbit Ethernet Controller	PCIモジュールボード #1のオンボード上のGbit Ethernet ControllerへのMAC Address設定処理に失敗。	MAC Address設定時、FRB2 Timeoutが発生し、書き換えに失敗しました。	(a) バックパネルボードを交換してください。 (b) PCIモジュールボード#1を交換してください。
8612	MAC Address update failed - CoreI/O#1 10/100Mbit Ethernet Controller	PCIモジュールボード #2のオンボード上の10/100Mbit Ethernet ControllerへのMAC Address設定処理に失敗。	MAC Address設定時、FRB2 Timeoutが発生し、書き換えに失敗しました。	(a) バックパネルボードを交換してください。 (b) PCIモジュールボード#2を交換してください。
8613	MAC Address update failed - CoreI/O#1 Gbit Ethernet Controller	PCIモジュールボード #2のオンボード上のGbit Ethernet ControllerへのMAC Address設定処理に失敗。	MAC Address設定時、FRB2 Timeoutが発生し、書き換えに失敗しました。	(a) バックパネルボードを交換してください。 (b) PCIモジュールボード#2を交換してください。

ビープ音によるエラー通知

POST中のエラーを検出しても、ディスプレイ装置の画面にエラーメッセージを表示できない場合があります。この場合は、一連のビープ音でエラーが発生したことを通知します。エラーはビープ音のいくつかの音の組み合わせでその内容を通知します。

たとえば、ビープ音が1回、連続して3回、1回、1回の組み合わせで鳴った(ビープコード：1-3-1-1)ときはDRAMリフレッシュテストエラーが起きたことを示します。

次にビープコードとその意味、対処方法を示します。

ビープコード	意 味	対処方法
1-2-2-3	ROMチェックサムエラー	保守サービス会社に連絡して、CPUモジュールボードを交換してください。
1-1-2-4	ROMEXECコードエラー	DIMMの取り付け状態を確認してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡して、DIMM、CPUモジュールボードを交換してください。
1-3-1-1	DRAMリフレッシュテストエラー	
1-3-1-3	キーボードコントローラエラー	キーボードを接続し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡して、CPUモジュールボードを交換してください。
1-3-3-1	メモリを検出できない。あるいは、DIMMのタイプが異なる	DIMMの取り付け状態を確認してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡して、DIMM、CPUモジュールボードを交換してください。
1-3-3-2	POST Memory Managerの初期設定エラー	
1-3-4-1	RAMアドレスエラー	
1-3-4-3	RAM LOWバイトデータエラー	
1-4-1-1	RAM HIGHバイトデータエラー	
2-2-3-1	不正割り込みテストエラー	保守サービス会社に連絡してください。
2-1-2-3	COPYRIGHTチェックエラー	
1-2	VIDEO BIOSの初期化エラー	ディスプレイ装置になにも表示されない場合は、ディスプレイのコネクタの取り付け状態を確認してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡して、CPUモジュールボードを交換してください。 増設したPCIボードのオプションROMの展開が表示されない場合は、PCIボードの取り付け状態を確認してください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡して、CPUモジュールボード、PCIモジュールボード、増設したPCIボードを交換してください。
	オプションROM初期化エラー	
	オプションROM展開エラー	

故障かな？と思ったらときは

Linuxのエラーメッセージ

Express5800/ftサーバは障害などが発生すると、コンソール画面にメッセージを表示します。また、同様の内容がシステムログとして記録されます。

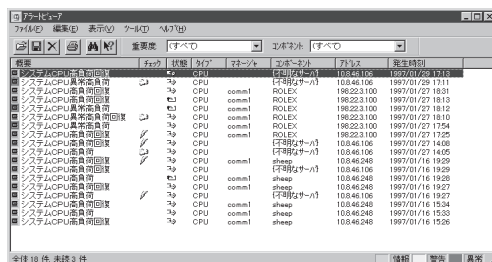
以下に、syslogメッセージおよびコンソール上のメッセージ、その意味、および対処方法を示します。

メッセージ	メッセージの説明	対処方法
FT [dev.no] opstate SIMPLEX to DUPLEX	SIMPLEX状態から二重化しました。	正常動作しています。
FT [dev.no] opstate ONLINE to DUPLEX	オンライン状態から二重化しました。	
FT [dev.no] opstate INITIALIZING to DUPLEX	初期化状態から二重化しました。	
FT [dev.no] opstate BROKEN to DUPLEX	故障状態から二重化しました。	
FT [dev.no] opstate INITIALIZING to DIAGNOSTICS	初期化状態から診断状態になりました。	
FT [dev.no] opstate INITIALIZING to ONLINE	初期化状態からオンライン状態になりました。	
FT [dev.no] opstate ONLINE to INITIALIZING	オンラインから初期化状態になりました。	
FT [dev.no] opstate DIAGNOSTICS to DIAGNOSTICS_PASSED	診断を終了しました。	
FT [dev.no] opstate UNKNOWN to INITIALIZING	初期化されていない状態から初期化処理に移行しました。	
FT [dev.no] opstate SIMPLEX to BROKEN	SIMPLEX状態から故障状態になりました。	保守サービス会社に連絡してください。
FT [dev.no] opstate UNKNOWN to EMPTY	状態不明の装置が未接続状態になりました。	
FT [dev.no] opstate INITIALIZING to BROKEN	デバイスの起動に失敗しました。	再度、起動し直します。それでも起動しない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
FT [dev.no] operation BRINGUP failed		
FT [dev.no] info error initializing PCI slots	PCIスロットの初期化に失敗しました。	該当するPCIスロットに機器が接続されていないければ問題ありません。そうでない場合は、ボードが故障しているおそれがあります。保守サービス会社に連絡してください。
FT [dev.no] info unable to access all offline memory FT [dev.no] info unable to clear hardware reset FT [dev.no] info unable to collect inventory FT [dev.no] info unable to configure chipset FT [dev.no] info unable to copy shadow memory FT [dev.no] info unable to map BIOS FT [dev.no] info unable to map firmware FT [dev.no] info unable to power on CRU FT [dev.no] info unable to read gpr0 FT [dev.no] info unable to set DIMM SPD	HWの状態が不正です。	保守サービス会社に連絡してください。
FT [dev.no] info unable to read system MAC address	装置のNICからMACアドレスが読み出せませんでした。	
FT [dev.no] info BIOS incompatible FT [dev.no] info BIOS mismatch FT [dev.no] info multiple BIOS miscompare	BIOSの状態が不正です。	
FT [dev.no] info failed to update firmware FT [dev.no] info firmware does not match FT [dev.no] info firmware file error FT [dev.no] info firmware image invalid	装置のfirmwareが不正です。	

サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ

ESMPRO/ServerAgentやESMPRO/ServerManagerなどExpress5800/ftサーバ専用の管理ツールをExpress5800/ftサーバや管理PCへインストールしておく、何らかの障害が起きたときに管理PCやExpress5800/ftサーバに接続しているディスプレイ装置から障害の内容を知ることができます。

各種アプリケーションのインストールや運用方法については5章、別冊のユーザーズガイド(セットアップ編)、またはオンラインドキュメントを参照してください。ESMPROを使ったシステム構築や各種設定の詳細についてはオンラインヘルプや別売の「ESMPROシステム構築ガイド」で詳しく説明されています。



エラー	エラー	エラー	エラー	エラー	エラー	エラー	エラー	エラー	エラー
エラー	エラー	エラー	エラー	エラー	エラー	エラー	エラー	エラー	エラー
システムCPU使用率超過	3%	CPU	comm1	ROLEX	10.0.40.106	1997/01/20 17:11			
システムCPU使用率超過	3%	CPU	comm1	ROLEX	10.0.40.106	1997/01/27 18:31			
システムCPU使用率超過	3%	CPU	comm1	ROLEX	10.0.40.106	1997/01/27 18:13			
システムCPU使用率超過	3%	CPU	comm1	ROLEX	10.0.40.106	1997/01/27 18:12			
システムCPU使用率超過	3%	CPU	comm1	ROLEX	10.0.40.106	1997/01/27 18:10			
システムCPU使用率超過	3%	CPU	comm1	ROLEX	10.0.40.106	1997/01/27 17:54			
システムCPU使用率超過	3%	CPU	comm1	ROLEX	10.0.40.106	1997/01/27 17:25			
システムCPU使用率超過	3%	CPU	comm1	不明なサーバ	10.0.40.106	1997/01/27 14:05			
システムCPU使用率超過	3%	CPU	comm1	sheep	10.0.40.245	1997/01/16 19:25			
システムCPU使用率超過	3%	CPU	comm1	不明なサーバ	10.0.40.106	1997/01/16 19:29			
システムCPU使用率超過	3%	CPU	comm1	sheep	10.0.40.245	1997/01/16 19:27			
システムCPU使用率超過	3%	CPU	comm1	不明なサーバ	10.0.40.106	1997/01/16 19:27			
システムCPU使用率超過	3%	CPU	comm1	sheep	10.0.40.245	1997/01/16 15:34			
システムCPU使用率超過	3%	CPU	comm1	sheep	10.0.40.245	1997/01/16 15:33			
システムCPU使用率超過	3%	CPU	comm1	sheep	10.0.40.245	1997/01/16 15:26			

故障かな？と思ったときは

トラブルシューティング

Express5800/ftサーバが思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容に従ってExpress5800/ftサーバをチェックしてください。リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後の確認、処理に従ってください。

それでも正常に動作しない場合は、ディスプレイ装置の画面に表示されたメッセージを記録してから、保守サービス会社に連絡してください。

Express5800/ftサーバについて



電源がONにならない

- ☐ 電源がExpress5800/ftサーバに正しく供給されていますか？
 - 電源コードがExpress5800/ftサーバの電源規格に合ったコンセント（またはUPS）に接続されていることを確認してください。
 - 本体に添付の2本の電源コードが正しく接続されていることを確認してください。
 - Express5800/ftサーバに添付の電源コードを使用してください。また、電源コードの被覆が破れていたり、プラグ部分が折れていたりしていないことを確認してください。
 - 接続したコンセントのブレーカがONになっていることを確認してください。
 - UPSに接続している場合は、UPSの電源がONになっていること、およびUPSから電力が出力されていることを確認してください。詳しくはUPSに添付の説明書を参照してください。また、Express5800/ftサーバのBIOSセットアップユーティリティでUPSとの電源連動機能の設定ができます。
<確認するメニュー:「System Hardware」→「AC-LINK」→「Power On」>
- ☐ POWERスイッチを押しましたか？
 - Express5800/ftサーバ前面に2つのPOWERスイッチがありますが、POWERスイッチのランプが点灯しているほうのPOWERスイッチを押して電源をONにしてください。
- ☐ CPU/PCIモジュールは正しく取り付けられていますか？
 - Express5800/ftサーバにCPU/PCIモジュールが正しく取り付けられていることを確認してください。CPU/PCIモジュールはハンドルにあるネジで確実に固定してください。



電源がOFFにならない

- ☐ POWERスイッチの機能を無効にしていますか？
 - いったんExpress5800/ftサーバを再起動して、BIOSセットアップユーティリティを起動してください。<確認するメニュー:「Security」→「Power Switch Mask」→「Unmasked」>
- ☐ POWERスイッチを押下する以外の方法で電源をOFFにしようとしていませんか？
 - shutdownコマンド等のソフトウェアのコマンドでは、装置の電源をOFFにすることはできません。POWERスイッチを押して電源をOFFにしてください。

**POSTが終わらない**

- ☐ メモリが正しく搭載されていますか？
→ 最低1組(2枚)のDIMMが搭載されていないと動作しません。
- ☐ 大容量のメモリを搭載していますか？
→ 搭載しているメモリサイズによってはメモリチェックで時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。
- ☐ Express5800/ftサーバの起動直後にキーボードやマウスを操作していませんか？
→ 起動直後にキーボードやマウスを操作すると、POSTは誤ってキーボードコントローラの異常を検出し、処理を停止してしまうことがあります。そのときはもう一度、起動し直してください。また、再起動直後は、BIOSの起動メッセージなどが表示されるまでキーボードやマウスを使って操作しないよう注意してください。
- ☐ Express5800/ftサーバで利用できるメモリ・PCIカードを搭載していますか？
→ 弊社が指定する機器以外は動作の保証はできません。

**デバイス(内蔵・外付け)にアクセスできない**

- ☐ ケーブルは正しく接続されていますか？
→ インタフェースケーブルや電源ケーブル(コード)が確実に接続されていることを確認してください。また接続順序が正しいかどうか確認してください。
- ☐ Express5800/ftサーバで利用できる機器ですか？
→ 弊社が指定する機器以外は動作の保証はできません。
- ☐ 電源ONの順番を間違っていないですか？
→ 外付けデバイスを接続している場合は、外付けデバイス、Express5800/ftサーバの順に電源をONにします。
- ☐ ドライバをインストールしていますか？
→ 接続したオプションのデバイスによっては専用のデバイスドライバが必要な場合があります。デバイスに添付の説明書を参照してドライバをインストールしてください。
→ シリアルポートに接続しているデバイスについては、I/Oポートアドレスや動作モードの設定が必要なものもあります。デバイスに添付の説明書を参照して正しく設定してください。
<確認するメニュー:「Advanced」→「Peripheral Configuration」>
- ☐ SCSIコントローラ(Fibre Channelコントローラを含む)の設定を間違えていませんか？
→ 内蔵SCSIコントローラにSCSI機器を接続している場合は、BIOSセットアップユーティリティで設定を確認してください。
- ☐ SCSI機器の設定を間違えていませんか？
→ 外付けSCSI機器を接続している場合は、SCSI IDや終端抵抗などの設定が必要です。詳しくはSCSI機器に添付の説明書を参照してください。
- ☐ SCSIドライバが対象機器を認識していますか？
→ SCSIドライバが対象機器を認識しているか、以下のコマンドを実行して確認してください。

```
>cat /proc/scsi/scsi
```

- 該当SCSI機器に対応するドライバがカーネルにロードされていますか？
 - 該当SCSI機器に対応するドライバがカーネルにロードされているか、以下のコマンドを実行して確認してください。
- >lsmod



CPUが二重化しない

- メモリの構成はあっているか確認してください。
- 弊社以外(サードパーティ)のCPUやメモリ(DIMM)を実装していないか確認してください。



ディスクの二重化設定ができない

- ユーザーズガイドに記載されている手順通りにRAIDの構築(故障交換後の再構築含む)を実施しないと、RAIDが(再)構築できない場合があります。手順を確認してください。



キーボードやマウスが正しく機能しない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
 - Express5800/ftサーバ背面にあるコネクタに正しく接続されていることを確認してください。
 - Express5800/ftサーバで利用できるキーボード・マウスですか？
 - 弊社が指定する機器以外は動作の保障できません。
 - BIOSの設定を間違えていませんか？
 - Express5800/ftサーバのBIOSセットアップユーティリティでキーボードの機能を変更することができます。BIOSセットアップユーティリティで設定を確認してください。
 - <確認するメニュー: 「Advanced」→「Keyboard Features」>
 - PS2-USB変換コネクタを使用していませんか？
 - PS2-USB変換コネクタはサポートしていません。弊社指定のキーボード・マウスを接続してください。
 - システム再インストール時にサーバスイッチユニットを接続していませんか？
 - システム再インストール時にサーバスイッチユニットを接続していた場合、起動時にgpmサービスはスタートしますがコンソールマウスが使用できません。mouseconfigコマンドでUSB3ボタンマウスを選択し、以下のコマンドでgpmを再起動させてください。再起動することで使用可能となります。
- >service gpm restart



画面が止まり、キーボードやマウスが機能しなくなる

- メモリをたくさん搭載した場合、システム起動中やCPUモジュールの二重化中、メモリコピーに時間がかかり、このときシステムは止まりますが、故障ではありません。



フロッピーディスクにアクセス(読み込み、または書き込み)ができない

- フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットしていますか？
 - フロッピーディスクドライブに「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

- 書き込み禁止にしていますか？
 - フロッピーディスクのライトプロテクトスイッチのノッチを「書き込み可」にセットしてください。

- フォーマットしていますか？
 - フォーマット済みのフロッピーディスクを使用するか、セットしたディスクをフォーマットしてください。フォーマットの方法については、OSに添付の説明書を参照してください。

上記のいずれかの方法でもアクセスできない場合は、以下の操作を行い、再度、アクセスできるか確認してください。

1. root権限のあるユーザーでログインする。
2. 以下に示すコマンドでディレクトリを作成する。

```
# mkdir /mnt/floppy
```

コマンドを実行した結果、すでに作成されていると表示されても問題はありません。
3. 以下のコマンドを実行する。

```
# modprobe usb-storage
```
4. 以下に示すコマンドを実行し、フロッピーディスクにアクセスできることを確認する。

```
# mount /dev/sdg /mnt/floppy
```

なお、上記はUSBフロッピーデバイスがsdgで認識され、フロッピーディスクがMS-DOSフォーマットされている際の一例です。

上記の手順でフロッピーディスクにアクセスできる場合は、再起動したときに、usb-storageが自動的にロードされるように、/etc/rc.d/rc.modulesに以下の行に追加してください。追加後は上記手順4の操作でフロッピーディスクドライブがマウントできます。

```
modprobe usb-storage
```



CD-ROMにアクセスできない

- CD-ROMドライブのトレイに確実にセットしていますか？
 - トレーにはCD-ROMを保持するホルダーがあります。ホルダーで確実に保持されていることを確認してください。
- Express5800/ftサーバで使用できるCD-ROMですか？
 - Macintosh専用のCD-ROMは使用できません。

- ☐ PCIモジュールが切り離されて(=オフライン状態となって)いませんか？
- 切り離されているPCIモジュールのCD-ROMドライブは使用できません。
また、切り離されている側のCD-ROMドライブをマウント(mount)しようとすると以下エラーをOSが表示し、OSが二重化していない状態の情報を元にCD-ROMドライブ組み込みを行おうとし続けるため、以降、二重化に復帰してもCD-ROMドライブにアクセスできない状態となってしまいますのでご注意ください(復旧にはシステムの再起動が必要となります)。

```
status timeout: status=0xff { Busy }  
drive not ready for command  
ATAPI reset timed-out, status=0xff  
reset timed-out, status=0xff
```

- ☐ CD-ROMデバイスをマウントしていますか？
- 以下の操作を行い、再度アクセスできるか確認してください。
1. root権限のあるユーザーでログインする。
 2. PCIモジュール(グループ1用)のCD-ROMドライブにCD-ROM媒体をセットし、以下コマンドを実行する。

```
# mount /mnt/cdrom
```


なお、PCIモジュール(グループ2用)のCD-ROMドライブを使用する場合は以下コマンドを実行してください。

```
# mount /mnt/cdrom1
```
- ☐ 正しいデバイスをマウントしていますか？
- PCIモジュール(グループ1用)を使用する際は/mnt/cdromを、PCIモジュール(グループ2用)を使用する際は/mnt/cdrom1をそれぞれマウントしてください。



ハードディスクドライブにアクセスできない

- ☐ Express5800/ftサーバで使えるハードディスクドライブですか？
- 弊社が指定する機器以外は動作の保証はできません。
- ☐ ハードディスクドライブは正しく取り付けられていますか？
- ハードディスクドライブのハンドルにあるレバーで確実にロックしてください。不完全な状態では、内部のコネクタに接続されません(8-9ページ参照)。また、正しく接続されている場合、Express5800/ftサーバの電源がONの間、ハードディスクドライブにあるランプが点灯します。



OSを起動できない

- ☐ フロッピーディスクをセットしていませんか？
- フロッピーディスクを取り出して再起動してください。
- ☐ 「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしていませんか？
- 「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを取り出して再起動してください。
- ☐ OSが破損していませんか？
- 別冊のユーザーズガイド(セットアップ編)の「システムの修復」(6-2ページ)を参照してfsckによる修復を試してください。
- ☐ grubを使用していますか？
- /etc/grub.confが正しく設定されていることを確認してください。



OSの動作が不安定

- カーネルを変更していませんか？
 - 一般カーネル向けの修正物件を適用したり、本装置用にインストールされたカーネルを変更していないことを確認してください。
- /devや /proc以下のディレクトリやファイルにアクセスしていませんか？
 - Express5800/ftサーバは、以下に示すディレクトリにシステムの運用や管理に関する情報を頻繁に保存・更新しています。そのため、以下のディレクトリ配下をコマンド等でアクセスした場合、フォールトトレラント機能に影響を与え、システムの動作を不安定にするおそれがありますので、アクセスしないでください。

```
/dev/mem
/proc/kcore
/proc/bus
/proc/ft/bb/cpu[0,1]/dump
/proc/ide
```
- konを動作させていませんか？
 - konはftサーバユーティリティとの組み合わせで使用した際に日本語表示が可能であることのみ確認しています。konは、Express5800/ftサーバでサポートされていないグラフィックスインタフェースを使用するため、ftサーバユーティリティとの組み合わせ以外での使用は正常に動作しない可能性があります。konを動作させている場合は<Ctrl>+<D>キーを押すか、もしくはexitコマンドでkonを終了させてください。



Linuxを正しくインストールできない

- インストール時の注意事項を確認していますか？
 - インストール時の注意事項を再度、確認してください。
- 正しい手順でインストールしていますか？
 - インストール手順を再度、確認し、正しい手順でインストールしてください。



PCIモジュールの障害によりPCIフェイルオーバ後、コンソールの文字が判別できなくなった

- ごくまれにPCIモジュールのフェイルオーバの際に、コンソールの画面が乱れることがあります。装置の動作には問題ありません。以下のコマンドを実行してください。
- ```
> /sbin/setsysfont
```



### システム起動時にリブートを繰り返す

- BIOS設定の[Boot Monitoring Time-out Period]の設定値は妥当ですか？
    - お客様の環境に合わせて[Boot Monitoring Time-out Period]の値を適宜変更してください。
- 詳細については、4-14ページの「Monitoring Configuration」を参照してください。

### ? ディスクのアクセスランプが点灯しない

- アクセスが過多の時、点滅が頻繁に起こり、消灯しているように見えることがあります。アクセスが減少したときに緑色に点滅している、またはアクセスが止まったときに緑色に点灯していることを確認してください。

### ? 使用していない(ケーブルを接続しない)LANカードが故障の状態に見える

- 装置に接続されているLANカードを使用していない(ケーブルを接続しない)場合、そのポートは故障と判断されるため、ESMPRO/ServerManagerの、データビューアの[FtServer]-[PCIモジュール]-[イーサネットボード]の状態色は赤(異常)、また統合ビューアのサーバの状態色も赤(異常)となります。この状態を回避するには、未使用のLANカード同士をLANケーブル(クロス)で接続して下さい。

## イベントログについて

### ? システムイベントログに、ESMCpuPerf関連のログが記録される

- システムの一時的なリソース不足や高負荷率などが原因で、OSからパフォーマンス情報が取得できないことを検出した場合にESMPRO/ServerAgentでは以下のイベントログを登録致しますが、システムの運用に特に問題はありません(説明中のYとx: 英数字・YYYYは取得できない場合もあります)。

「ソース : ESMCpuPerf

ID : 9005

説明 : システムのパフォーマンス情報が取得できない状態です(YYYY Code=xxxx)」

なお、情報が取得できない場合には、負荷率は0%として扱うため、連続して情報が取得できない事象が発生した場合、CPU負荷率は実際値よりも低く表示される場合があります。

### ? アプリケーションイベントログにEvtAgnt のログが記録される

- このイベントはシステムに対する影響はなく(SNMPサービスに対する影響もありません)、対処を行わなくても問題はありません。

「ソース : EvtAgnt

ID : 1003

説明 : TraceFileName パラメータがレジストリにありません。使用した既定のトレースファイルは???です。」

「ソース : EvtAgnt

ID : 1015

説明 : TraceLevel パラメータがレジストリにありません。使用した既定のトレースレベルは32です。」

### ？ ディスクの挿抜などの操作により、syslogに“APIC error”が記録される

- 装置の電源がONの状態の内蔵ディスクを挿抜した際などに、OSが内部で管理している状態と装置側の実際の状態とが異なることが原因で、“APIC error”のメッセージがログに記録されたり、画面に表示されたりすることがありますが、動作上問題はありません。

### ？ CPUモジュールの同期中などで、“info synchronization error”が記録される

- CPUモジュールが二重化処理を行っている時などに、OSが内部で管理している状態と装置側の実際の状態とが異なることが原因で、“info synchronization error”のメッセージがログに記録されることがありますが、動作上問題ははありません。

### ？ 内蔵のLANボードを使用していると、“card reports no resources”のログが記録される

- 内蔵のLANボードを使用の際に、ネットワークアクセスの負荷が高くなることでLANドライバでのリソース確保ができない際に、“card reports no resources”のメッセージがログに出力されることがありますが、装置動作への影響はありません。LANドライバが自動的にretryを実施することでネットワークの接続を切ることなく通信を継続します。

### ？ OSの起動時に“I/O error”がログに記録される

- OSの起動時に、USBフロッピーディスクドライブが接続されている場合以下のメッセージが画面に表示されたり、ログに記録されたりすることがありますが、動作上問題ははありません。(下記\*は半角英数字)

Partition Check:

sdg:<6> I/O error: dev \*.\*.\*, Command \*\*\*\*\*, sector 0

I/O error : dev \*.\*.\*, Command \*\*\*\*\*, sector 0

unable to read partition table

### ？ Fibre Channel ディスクへのアクセス中にケーブルが抜けることによりsyslog に“I/O error が”記録される

- Fibre Channel ディスクへのアクセス中にプライマリのPCI モジュールに接続されていたFibre Channel ケーブルが抜けた際に、OSが内部で管理している状態と装置側の実際の状態とが異なることが原因で、動作していないデバイス上で“SCSI disk(/dev/sdd\*\*)/I/O error”(\*\*は数値)が発生したようにログに記録されることがありますが、動作上問題ははありません。

# EXPRESSBUILDERについて

「EXPRESSBUILDER」CD-ROMからExpress5800/ftサーバを起動できない場合は、次の点について確認してください。

- ☐ POSTの実行中に「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをセットし、再起動しましたか？  
→ POSTを実行中に「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをセットし、再起動しないとエラーメッセージが表示されたり、OSが起動したりします。
- ☐ BIOSのセットアップを間違えていませんか？  
→ Express5800/ftサーバのBIOSセットアップユーティリティでブートデバイスの起動順序を設定することができます。BIOSセットアップユーティリティでCD-ROMドライブが最初に起動するよう順序を変更してください。  
<確認するメニュー: 「Boot」>

EXPRESSBUILDER実行中、何らかの障害が発生すると、次のメッセージが表示されます。エラーコードを記録して保守サービス会社に連絡してください。

| メッセージ                     | 原因と処理方法                                                                   |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 本プログラムの動作対象マシンではありません。    | 「EXPRESSBUILDER」CD-ROMの対象マシンではありません。対象マシンで実行してください。                       |
| NvRAMへのアクセスに失敗しました。       | 不揮発性メモリ(NvRAM)にアクセスできません。                                                 |
| ハードディスクドライブへのアクセスに失敗しました。 | ハードディスクドライブが接続されていないか、ハードディスクドライブが異常です。ハードディスクドライブが正常に接続されていることを確認してください。 |

この他にもシステム診断を実行したときに障害を検出するとエラーメッセージが表示されます。表示されたメッセージをメモし、保守サービス会社までご連絡ください。

# マスターコントロールメニューについて



## オンラインドキュメントが読めない

- ☐ HTMLブラウザが正しくインストールされていますか？
  - オンラインドキュメントは、HTML文書です。あらかじめHTMLブラウザ（Internet Explorer 5.x以降）をご使用のオペレーティングシステムへインストールしておいてください。
- ☐ Adobe Acrobat ReaderまたはAdobe Readerが正しくインストールされていますか？
  - オンラインドキュメントの文書の一部は、PDFファイル形式で提供されています。あらかじめAdobe Acrobat Reader (Version 4.05以上) またはAdobe Readerをご使用のオペレーティングシステムへインストールしておいてください。なお、Adobe Acrobat Readerは、「EXPRESSBUILDER」CD-ROMからインストールすることができます。マスターコントロールメニューを起動後、[ソフトウェアのセットアップ]の[Adobe Acrobat Reader]を選択してください（インストール後、Acrobat Readerを起動して使用許諾契約書に同意してからご使用ください）。



## オンラインドキュメントの画像が見にくい

- ☐ ご使用のディスプレイは、256色以上の表示になっていますか？
  - ディスプレイの設定が256色未満の場合は、画像が見にくくなります。256色以上の表示ができる環境で実行してください。



## マスターコントロールメニューが表示されない

- ☐ ご使用のシステムは、Windows NT 4.0以降、またはWindows 95以降ですか？
  - CD-ROMのAutorun機能は、Windows 2000、およびWindows NT 4.0、Windows 95以降でサポートされた機能です。それ以前のバージョンでは自動的に起動しません。ご注意ください。
- ☐ <Shift>キーを押していませんか？
  - <Shift>キーを押しながらCD-ROMをセットすると、Autorun機能がキャンセルされます。
- ☐ システムの状態は問題ありませんか？
  - システムのレジストリ設定やCD-ROMをセットするタイミングによってはメニューが起動しない場合があります。そのような場合は、CD-ROMの¥MC¥1ST.EXEをエクスプローラ等から実行してください。

# ESMPROについて

## ESMPRO/ServerAgentについて

- 「ユーティリティのインストールと操作」の5-16ページ以降の説明を参照してください。

## ESMPRO/ServerManagerについて

- 「ユーティリティのインストールと操作」の5-21ページ以降の説明を参照してください。また、添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROM内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerManagerインストールガイド」でトラブルの回避方法やその他の補足説明が記載されています。参照してください。

# 障害情報の採取

万一障害が起きた場合、次の方法でさまざまな障害発生時の情報を採取することができます。



- 以降で説明する障害情報の採取については、保守サービス会社の保守員から情報採取の依頼があったときのみ採取してください。
- 障害発生後に再起動されたとき、仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示されることがありますが、そのままシステムを起動してください。途中でリセットし、もう一度起動すると、障害情報が正しく採取できません。

## syslogの採取

LinuxのLogファイルは、テキスト形式で以下のディレクトリに作成されます。

/var/log/

Express5800/ftサーバのLogファイルも通常のLinuxと同様に、このディレクトリに作成されます。

## システム情報の採取

Linuxのシステム情報は、syslog等に記録されます。Express5800/ftサーバでシステム情報を採取する場合は、root権限を持つユーザーでログインし、以下のコマンドを実行してください。

```
logcollector
```

# メモリダンプの採取

障害が起きたときのメモリの内容をダンプし、採取します。



- 保守サービス会社の保守員と相談した上で採取してください。正常に動作しているときに操作するとシステムの運用に支障をきたすおそれがあります。
- 障害の発生後に再起動したときに仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示される場合がありますが、そのまま起動してください。途中でリセットして起動し直すと、データを正しくダンプできない場合があります。

## 採取のための準備

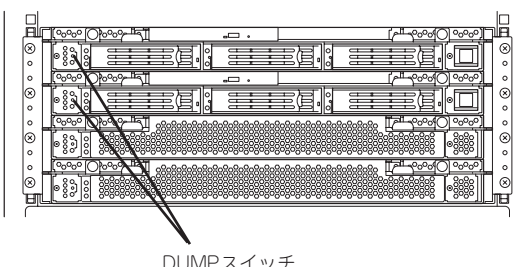
DUMPスイッチを押してダンプを実行した後にExpress5800/ftサーバをリセットできなくなる場合があります。この場合、強制シャットダウン(4-38ページ参照)でExpress5800/ftサーバを強制的にリセットしなければならなくなりますが、BIOSセットアップユーティリティ「SETUP」の「Security」メニューの「Power Switch Mask」を「Masked」に設定しておく、POWERスイッチの機能が無効になるため、強制シャットダウンができなくなります。万一の場合、強制シャットダウンでExpress5800/ftサーバをリセットできるように次の手順に従ってExpress5800/ftサーバの設定を変更しておいてください。

1. Express5800/ftサーバの電源をONにして、BIOSセットアップユーティリティ「SETUP」を起動する(4-2ページ参照)。
2. 「Security」メニューの「Power Switch Mask」を「UnMasked」に設定する。
3. 設定内容を保存して、SETUPを終了する。

## メモリダンプの採取

障害が発生し、メモリダンプを採取したいときにDUMPスイッチを押してください。スイッチを押すときには金属製のピン(太めのゼムクリップを引き伸ばして代用可)をスイッチ穴に差し込んでスイッチを押します。

スイッチを押すと、メモリダンプは設定されている保存先に保存されます(CPUがストールした場合などではメモリダンプを採取できない場合があります)。



つま楊枝やプラスチックなど折れやすいものを使用しないでください。

DUMPスイッチを押した後、システムが再起動し、メモリダンプを採取します。



# IPMI情報のバックアップ

IPMI情報を採取します。情報を採取するためには、ESMPRO/ServerAgentがインストールされていないとなりません。

1. root権限のあるユーザーでログインする。

2. ESMPRO/ServerAgentがインストールされているディレクトリに移動する。

特に指定していない場合は、「/opt/nec/esmpro\_sa」にインストールされています。ここでは、「/opt/nec/esmpro\_sa」にインストールされているとして説明します。

```
cd /opt/nec/esmpro_sa
```

3. ツールが格納されているディレクトリに移動する。

```
cd bin
```

4. 以下のコマンドを実行する。

```
./xrasutil
```

ESRAS Utilityが起動します。

5. <Backup the current IPMI Information...>を選択する。

IPMI Information Backup画面が表示されます。

6. 出力先、コメントを入力し、[OK]をクリックする。

指定した場所に情報が出力されます。

<Backup File Name> : 情報を保存したいファイルのパスを指定します。デフォルトではESMPRO/ServerAgentがインストールされているディレクトリの下のlog/ipmi.datに出力されます。

<Comment> : 一緒に出力したい情報を記述します(省略可)。

~Memo~